

# 岬地区36景

岬地区は 住んでよし 訪れてよし



岬地区コミュニティ運営協議会

# 岬地区三十六景

NO		内 容	NO		内 容
1	遺跡、仏閣、神社、碑等	かねざきかひづか 鐘崎貝塚	19	生活	みさきちく 岬地区コミュニティセンター
2		おりはたじんじや 織幡神社	20		むなかたぎよぎょうきょうどうくみあい 宗像漁業協同組合
3		くずはらじんじや てんじんさま 葛原神社と天神様	21		あくおかけんさいばいぎよぎょう 福岡県裁培漁業センター
4		おおとしさま 大歳様	22		かね みさきかつぎよ 鐘の岬活魚センター
5		いしづちさま 石槌様	23		あま 海女さん
6		えびすじんじや 恵比須神社	24		ほ ノウサバ千し
7		ばんれいとう 萬霊塔	25		かねざき 鐘崎グラウンド
8		せんおくじ 泉福寺	26		なだ じてんしゃどう ひびき灘の自転車道
9		びょうあくじ 承福寺	27		まつばら ゆうほどう さつき松原の遊歩道
10		むなかたうじさだこう ぼち 宗像氏貞公の墓地	28		まつばら さつき松原
11		ぎよせいひ 御製碑	29		自然・風景
12	せんおくじはな 泉福寺花まつり	30	ゆがわさんぜんけい 湯川山全景		
13	かねざきやまがさ 鐘崎山笠	31	こうびょうはま よ八浜		
14	なつ ぼんおど たいかい 夏まつり盆踊り大会	32	かねざきぎょこう 鐘崎漁港		
15	りょうし 漁師まつり	33	もんぜん サルスベリ 門前の西国紅		
16	みさき ちくけいろうかい 岬地区敬老会	34	まい アサギマダラの舞		
17	みさき ちくぶんかさい 岬地区文化祭	35	こやだ みさごの子育て		
18	や どんど焼き	36	ひびきなだ ちょうぼう 響灘の眺望		

## 岬地区三十六景-1

かねざきかいづか  
鐘崎貝塚



鐘崎貝塚は、砂丘上に分布する縄文時代後期（約4千年～3千年前）の貝塚です。アサリやハイガイ、テングニシ、サザエ、シジミなどが出土しています。

ここで出土した縄文土器は、九州の縄文後期を代表する標識土器として「鐘崎式土器」呼ばれています。

## 岬地区三十六景-2

おりはたじんじゃ  
織幡神社



祭神は、武内宿禰です。平安初期、朝廷の年中行事や制度などの事を書いた“延喜式”の中に、織幡宮は、筑前十九社の第二番目に記され、宗像郡内でも、宗像大社に次ぐ神社として記録されています。

織幡宮は、武人、武内宿禰を鎮護国家の備えとして、交通の要衝として鐘崎に祀ったといわれています。

## 岬地区三十六景-3

くずはらじんじゃ てんじんさま  
葛原神社と天神様



葛原神社は、織幡神社の祭神武内宿禰の両親が祀ってあります。昔々に菅原道真公の祠がこの場所に借地して鎮座したことから、天神様と呼ばれるようになりました。9月には、天神様のお祭りがあり、お祓いが終わると、神輿を車に載せて、地区内を巡行します。地域の方が出迎えお祈りをささげます。

## 岬地区三十六景-4

おおとしぐう  
大歳宮



上八地区の門前からさつき松原に入ると大歳宮があります。大歳宮は、五穀豊穡の神様です。塩害から田畑を守っておられるのでしょうか。9月になると、上八地区の皆さんで大歳宮秋祭りを行います。この日は、大歳様の境内がお参りの人でいっぱいになります。鐘崎の区長さんや関係者の方も参加していっしょにお祝いをします。

## 岬地区三十六景-5

### いしづちさま 石槌様



石槌様は、家内安全、交通祈願、長寿祈願、学業成就など様々な願い事ができます。9月にお祭りがありますが、中町区の皆さんがお世話をしています。また、子ども相撲が奉納されますが、岬地区の子どもたちが多数集まって元気いっぱい相撲をとります。地域の大人たちはその様子を温かく見守っています。

## 岬地区三十六景-6

### えびす じんじゃ 恵比須神社



北町区

西町区

鐘崎には、恵比須神社がたくさんあります。いずれも浜に向かって祀られています。恵比須様は、海上・漁業の神様です。また、商売繁盛の神様として信仰されています。地域の人は大漁を願ってお参りします。写真は、織幡神社横、千代川区、北町区、中町区、西町区の恵比須神社です。

## 岬地区三十六景-7

### ばんれいとう 萬霊塔



萬霊塔は戦争で亡くなった方を供養するために建立されました。左側の碑には、日清戦争から第二次世界大戦で亡くなられた方の銘が刻まれています。春と秋のお彼岸や8月15日には、自治会と漁協等のお世話で慰霊祭が行われ、遺族の方や関係者の方が参っておられます。平和の尊さをしっかりと感じる場所です。

## 岬地区三十六景-8

### せんぷくじ 泉福寺



天福元年(1233年)西山浄土宗総本山光明寺三世幸阿上人が八十歳で入滅(1212年)してから、僅か二十一年目に開山されています。元和二年(1616年)に現在地にお寺を移した際に、記念樹として植えた「榎(えのき)」は樹齢400年を超え、県文化財指定天然記念物となり、檀信徒が保全に努めています。

## 岬地区三十六景-9

### じょうふくじ 承福寺



承福寺は、室町時代、宗像大宮司氏国の家臣、占部越前守平安延の再興と伝えられています。宗派は、臨済宗です。江戸時代の初期、筑前に入城した黒田家は、承福寺を擁護し、寺は、黒田家代々の城主より知行をあずかり、檀信徒の心のよりどころとなりました。

## 岬地区三十六景-10

### おなかたうじさだこう ぼち およ せきとう 宗像氏貞公の墓地及び石塔



第八十代宗像大宮司宗像氏貞は、戦国乱世の時、宗像一円を統括した宗像氏最後の英傑です。1578年には、焼失した宗像大社本殿を再建しています。1586年に、病に倒れ、蕨ヶ嶽城にて四十二才の生涯を終えています。[辞世の句]

人として 名をかるばかり 四十二年  
消えてぞ帰る もとのごときに

## 岬地区三十六景-11

### ぎょせいひ 御製碑



平成29年10月29日、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、第三十九回全国豊かな海づくり大会が宗像市で開催されました。福岡の豊かな海が将来に受け継がれていくことを願い御製碑が建立されました。

《天皇陛下が詠まれた和歌》

くろあわび あさりの稚貝 手渡しぬ  
漁(すなど)る人の上 思いつつ

## 岬地区三十六景-12

### せんぷくじはな 泉福寺花まつり



4月8日はお釈迦様の誕生日を祝う花まつりです。泉福寺では、旧暦で行うため5月に営まれています。命の尊さを感じながら、子どもたちの健やかな成長を願います。この行事では、子どもたちは誰もがかけがえのない存在であることを喜び、その未来が輝き続けることを祈ります。

### 岬地区三十六景-13

#### かねぎきやまがさ 鐘崎山笠



鐘崎山笠は、毎年7月14日に海上安全、大漁祈願、五穀豊穰を願い、漁業者が漁止めをして、地域が一つになって開催されます。主催は当番制になっており、鐘崎の六町が順番で受け持っています。玄海東小学校の児童も全員、学校行事として法被を着て参加します。

### 岬地区三十六景-14

#### なつ ぼんおどりたいかい 夏まつり盆踊り大会



本地区の夏まつり盆踊り大会は、8月16日に開催します。主催は、コミュニティ、自治会、漁業協同組合の3者です。大会内容は、はじめに盆供養を、次に夏まつりのイベント、最後に盆踊りを行います。鐘崎盆踊りは、口説き、太鼓、踊りで構成されており素朴で躍動的な踊りです。福岡県指定無形民俗文化財に指定されています。

### 岬地区三十六景-15

#### りょうし 漁師まつり



鐘崎では、平成27年9月に第1回の漁師まつりが行われました。例年、地区内外からたくさんの方の参加があります。会場には、海の幸がいっぱいです。特に、魚とりは人気があります。写真のように、子どもたちが魚を捕まえようと必死になって挑戦します。このような体験は、この祭りしかできないようです。

### 岬地区三十六景-16

#### みさきちけいろうかい 岬地区敬老会



岬地区敬老会は、9月の敬老の日の前後に開催しています。毎年、宗像漁業協同組合の漁村センターでイベント等を行います。県会議員さん、市会議員さんのお祝いの言葉、舞踊、玄海東小学校や玄海中学校の児童生徒の発表、浮雲座による芝居など楽しい催し物が出され、参加者の皆さんは笑顔いっぱいになります。

## 岬地区三十六景-17

### みさきちくぶんかさい 岬地区文化祭



岬地区文化祭は、岬地区コミュニティ・センターで活動している団体や地域で活動している団体や個人が、日頃の練習の成果を発表し、地域の皆様と交流を深めるおまつりです。ここでは、作品展示、各種イベント、体験活動、バザーなどがあり 楽しい文化祭になっています

## 岬地区三十六景-18

### や どんど焼き



どんど焼きは1月中旬に行われます。正月の松飾りやしめなわなどを家々から持ち寄り1か所に積み上げて燃やす行事です。どんど焼きの火にあつたまったり、焼いた餅を食べたりすると1年間健康でいられるなどの言い伝えがあります。無病息災・五穀豊穰を祈る行事です。

## 岬地区三十六景-19

### みさきちく 岬地区コミュニティ・センター



岬地区コミュニティ運営協議会は、平成16年11月に発足しました。平成22年までは、岬地区公民館で活動を行って来ました。平成23年から現在のコミュニティセンターで活動を行っています。現在、本施設は、地域の文化活動や交流の場として、地域の皆さんに幅広く活用されています。

## 岬地区三十六景-20

### おなかつぎよぎょうきょうどうくみあい 宗像漁業協同組合



平成26年4月1日に、宗像漁協と鐘崎漁協が合併し新「宗像漁業協同組合」となり、鐘崎を本所として発足しました。今後は、経営の強化と魅力ある漁村づくりを目指します。宗像じまんの海産物は、鐘崎天然とらふく（最高級のみぐ）、あなご、玄ちゃんアジ、活きイカ、めかぶ、あかもく、そうめんのり、おきゅうと等が有名です。

## 岬地区三十六景-21

### ふくおかけんさいばいぎょぎょう 福岡県栽培漁業センター



栽培漁業センターは、とる漁業から育てる漁業への期待をにない、栽培漁業推進の中核となる施設として設置されています。トラフグ、ヨシエビ、ガザミ、アワビ、アカウニ等の放流用種苗の生産を行っています。また、種苗の量産技術の改良・栽培漁業技術の研修などにも取り組んでいます。

## 岬地区三十六景-22

### かね みさきかつぎよ 鐘の岬活魚センター



鐘の岬活魚センターは、宗像でとれた新鮮な魚を販売しています。フグ、サバ、イカ、アナゴ、サザエなど季節によって種類は違いますが、新鮮な魚をその場で調理してくれます。最近、宗像漁業協同組合の「フグしゅうまい・イカしゅうまい・タコしゅうまい」が有名になりましたが、ここで調理されたものが活用されています。

## 岬地区三十六景-23

### かねざき あま 鐘崎の海女さん



海女さんの発祥地は鐘崎だと言われています。昔に比べて、今は、海女さんは大変少なくなりました。現在、海女さんの伝統を受け継いでくれる若い方(2名)が「海女ちゃん」に挑戦しており、後継者として期待されています。若い2人の活躍がテレビや新聞に取り上げられ、宗像市や鐘崎のアピールをしっかりとしてくれています。

## 岬地区三十六景-24

### ふゆ ふうぶつ ほ 冬の風物「のうさば干し」



冬になると鐘崎の浜は、ノウサバ干しがはじまります。のうさばは、鐘崎カズノコとも呼び、お正月にはなくてはならないものです。テレビや新聞でも取り上げられます。小さくきざんで、みりんや醤油で味付けして食べますが、味は大変珍味で美味しいです。一度食べるとやみつきになります。酒の肴に最高です。

## 岬地区三十六景-25

### かねざき 鐘崎グラウンド



このグラウンドでは、日常、鐘崎の少年野球チーム「玄海サンジュニア」が練習をしています。休日になると、宗像地区や西日本各地の大会が催されたり練習試合が行われたりしてグラウンドは活気に満ちています。潮風を受けて、子どもたちは伸び伸びと成長しています。

## 岬地区三十六景-26

### なだ じてんしゃどう ひびき灘自転車道



国民宿舎「ひびき」の前には、ひびき灘自転車道ができています。玄海灘・響灘コースは、波津の休憩所まで4.7キロメートルです。ひびき灘を背景に走る自転車は、最高の気分です。地元の人は、散歩道としても活用しています。

## 岬地区三十六景-27

### まつばら ゆうほどう さつき松原の遊歩道



さつき松原の浜沿いに遊歩道があります。上八の入口から江口まで、松林の中を散策することができます。近くには、東屋や観覧席もあり、海を眺めたり、サンセット（夕日）を眺めたりする場所として最適な場所です。最近、駐車場やトイレ等も完成し、見物客も増えています。

## 岬地区三十六景-28

### まつばら さつき松原



さつき松原は、玄海国定公園に指定されています。しかし、近年は、松くい虫の被害にあい相当数の松が枯れました。そこで、さつき松原を守ろうとさつき松原保存会が発足しました。現在は、新しい松がすくすくと成長しています。駐車場や遊歩道もでき市民の憩いの場所になっています。

## 岬地区三十六景-29

みさき ゆうひ  
岬のサンセット (夕日)



さつき松原から眺めたサンセット (夕日) です。大海原を赤く染めて徐々に消えゆく様は、えもいわれぬ美しさです。松原内は、東屋や遊歩道が設けられたり、眺望のよい場所には長椅子が設置されたりして、くつろぎの場所になっています。最近できた駐車場には多くの車が止まり、見学者が増えています。

## 岬地区三十六景-30

ゆがわやま ぜんけい  
湯川山全景



岬地区は、山と海に囲まれた自然豊かな地域です。その唯一の山は、湯川山です。山頂 471 メートル。すそのが大きく広がっています。湯川山の山頂からは、沖ノ島や芦屋・北九州の沿岸を眺望することができます。岬地区は、そのふところにいだかれて、自然豊かな生活を営んでいます。

## 岬地区三十六景-31

こうじょうはま  
上八浜



御製碑の横に美しい砂浜が広がっています。上八浜です。ここは、浅瀬で波も穏やかな場所です。潮が引くと広大な砂地が現れ、そこにはたくさんのカモメが住み着いています。とても自然環境豊かな場所です。最近、海辺で遊んだり、海水浴をする人が増えています。

## 岬地区三十六景-32

かねざきぎょこう  
鐘崎漁港



鐘崎は、福岡県有数の漁港で、漁獲高は一番です。トラフグ、ヤリイカ、アジ、アナゴ、サザエなどたくさんの魚介類が揚げられています。漁船は、福岡県で一番多く、写真のように大きな船が整然と停泊しています。最近、港湾の拡張工事が行われており、ますます港は充実しています。

### 岬地区三十六景-33

もんぜん サルスベリ  
門前の百日紅



上八の門前にある百日紅（サルスベリ）は、二百数十年たっているとされており、これまで、地元の方が大切に育てられてきています。初夏～秋にかけて開花し、色鮮やかな紅色の花をつけます。この時期は、地区内外から、見学者が訪れ、写真を撮っておられます。

### 岬地区三十六景-34

まい  
アサギマダラの舞



アサギマダラは、南西諸島や台湾から移動する蝶で、1,500 キロメートル以上を飛来した蝶もいます。この写真は、織幡神社近くで撮影しました。

玄海灘沿岸には、これらの蝶がたくさん見られます。長旅をしてきた蝶、静かに見守ってやりたいですね。

### 岬地区三十六景-35

こそだ  
みさごの子育て



みさごのつがいが、織幡神社の裏のがけの中腹で子育てをしていました。みさごは、準絶滅危惧種に指定されており、数が減ってきています。この写真は、オスが魚をくわえ、メスがヒナのそばにいます。必死で子育てをしているようすがうかがえます。このヒナは、元気に飛び立ちました。

### 岬地区三十六景-36

ひびきなだ ちょうぼう  
響灘の眺望



この写真は、織幡神社の境内から、響灘を撮ったものです。正面は北九州市です。この砂浜は、深浜と呼ばれ、夏は、海水浴場として使用されています。ここから、天気がよい日は、世界遺産に登録された「神宿る島」宗像・沖ノ島を望むことができます。

『岬地区36景』の場所を地図に表しています。数字は、36景の番号です。



玄海湾賛歌

作 花田頼三

向こうは大島

右に地島

左に勝島

鐘の岬に四塚湊

中に一本白波走る

曾根瀬崎

時化であらうと

風ぎであらうと

玄海湾はい眺め

さつき浜は

いいロケーション

編集・発行：岬地区コミュニティ運営協議会

〒811-3512 福岡県宗像市鐘崎 776-4 電話 (0940) 62-2656